
4006. 出港前報告訂正 (ハウスB／L) 呼出し

業務コード	業務名
CHR11	出港前報告訂正 (ハウスB／L) 呼出し

1. 業務概要

出港前報告した情報に対するハウスB/L^{*1}の訂正及び削除を行う場合に、本業務によりシステムに登録されている情報を呼び出す。

(※1) 「ハウスB/L」とは、「出港前報告 (ハウスB/L) (AHR)」業務または「出港前報告訂正 (ハウスB/L) (CHR)」業務 (以下、「AHR業務等」という。) でハウスB/Lとして登録されたB/Lを指す。

2. 入力者

NVOCC

3. 制限事項

なし

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

- ①システムに登録されている利用者であること。
- ②以下のいずれかの条件を満たすこと。
 - ・入力されたハウスB/Lに対してAHR業務等を行った利用者と同一である。
 - ・入力されたハウスB/Lに登録された通知先と同一である。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 出港前報告情報DBチェック

入力されたハウスB/Lに対して以下のチェックを行う。

- ①ハウスB/Lであること。
- ②「出港前報告B/L関連付け (BLL)」業務により変更前B/Lである旨が登録されていないこと。ただし、同時に変更後B/Lである旨が登録されている場合を除く。

5. 処理内容

(1) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。(エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。)

(2) 出港前報告訂正情報 (ハウスB/L) 編集出力処理

出港前報告情報DBより出港前報告訂正 (ハウスB/L) 呼出情報の編集及び出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(3) 注意喚起メッセージ出力処理

呼出情報を元に訂正内容をシステムに反映する場合は、再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

6. 出力情報

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
出港前報告訂正（ハウスB／L）呼出情報	なし	入力者